

【黒田地区紹介パンフレットの打ち合わせ】

京北に移り住んだ方々や、Uターンされた方々のライフスタイルを取り上げ、田舎暮らしの紹介パンフレットを作成しようという事で、3月8日に京都市内の広告会社の方を交えて黒田地区にある蕎麦屋さん「みこく」にて打ち合わせを行いました。自治会長さんと、家族5名で住む事を決めたご家庭の奥様との対談形式で取材を行いました。話の内容は移住をするにあたって決め手となった事や、この地域の魅力など。お話の中で、この地域を知るきっかけとなったのは黒田で行われた空き家を使った交流イベントとおっしゃっていました。今後はこの家を改修し、自分達だけではなく、地域の為の多目的な場所として利用する事を考えており、道の駅ならぬ「里の駅」のような事が出来れば、とお話されていました。

また、打ち合わせの場所として利用させていただいた「みこく」のご主人も、市内から生家のある黒田へ戻られた方。生家を改装した店内はさながら高級旅館のようなしつらえや調度品で、まさか黒田にこんな所があったとは、というのが本音です。ご主人が蕎麦畑で収穫したお蕎麦は絶品でした。黒田で暮らす目的、理由は三者三様ですが、皆さんに共通する事は「惚れ込んでいる」こと。良い取材が出来たので、パンフレットが出来上がって今回の方々の様な人に来ていただく一助になれば、と思いました。



かがやき 新聞 四月号

京都市役所 文化市民局 地域自治推進室

京都市北部山間かがやき隊 京北担当

菅本 千尋

お問い合わせ(右京区役所 京北出張所)

電話(075)852-1811

E-mail suqdc132@city.kyoto.lg.jp

【弓削活性化フォーラムに参加しました】



3月12日、弓削地区住民が50名ほど集まり、弓削のこれからについて話合う場に呼んでいただき、私の方からは空き家活用についての話をさせていただきました。片山所

長からは京北の魅力について講演があり、講演内容にうなずいて聞いておられる方も多くいました。なかなか自分達だけでは気付けない地域の魅力を、外側の者が問う事で今ある良い所、これからについて新たに推考する。こういった地域活動は簡単な事のように感じますが、これだけの人々が集まり、同じ思いを意見交換するというのは非常に意義があったと思います。初開催とは思えない、闊達な意見交換が出来る弓削の方々に驚かされました。

【ゼスト御池で京北フェアを開催しました】

3月11日に、京都市内にあるゼスト御池の地下街で、「花降る里けいほくSAKURA×SABA フェス」というタイトルでイベントが行われたので、出展ブース担当として参加しました。京北で木工作家として活躍される方々に出展していただいたり、鯖寿司やジビエを使った料理を提供する地元店に参加していただいたりと、京北らしさを楽しめる内容で、出品した食品や野菜などは完売するほどの盛況でした。これだけの反響があるのにいつも聞かれる事は「京北ってどこにありますか」という事。ある程度お歳を召した方々からは聞きませんが、京都市内にお住まいの方々からもまだ知られていないというのは、幾分不思議な気がします。まだまだPRが足りないだけで、野菜や鯖寿司を始めとした「食」は評価されているので、地道な活動ではありますがこういった機会を増やしていく事が大切なのだと思います。

